

平成 28 年 3 月 15 日

平成 27 年度福岡県立大学大学院看護学研究科看護学専攻公開授業(報告) グラウンデッド・セオリー・アプローチの理論と実際

開催日時 平成 28 年 3 月 4 日(金) 12:50~14:20

場所 リファレンス大博多ビル 7 階 1107 会議室

講師 慶応義塾大学大学院看護マネジメント研究科

教授 戈木クレイグヒル滋子 先生

本学看護学研究科の課題研究と特別研究の公開授業が、昨年度に引き続き、戈木クレイグヒル滋子先生をお招きして博多で行われました。御存知の通り、戈木先生はグラウンデッド・セオリー・アプローチ(以下 GTA)の日本での第一人者です。戈木先生は大学で教鞭をとる傍ら、「グラウンデッド・セオリー・アプローチ分析ワークブック」、「グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いたデータ収集法」など、GTA に関する著書を多数執筆されています。また GTA を用いて行われた研究を図書としても出版されており、各種の学会から奨励賞も受賞されている高名な研究者です。



公開授業の風景(参加者の同意を得て撮影)

本公開授業には、本学と他大学の在学生・修了生・教員、福岡県下の医療機関等の看護職者、総勢 40 名が参加しました。戈木先生は、終始明快かつ熱心な語り口で講義を展開され、GTA と他の研究法の共通点と相違点、GTA による研究の具体的なプロセスについて、わかりやすくプレゼンテーションをされました。90 分という短い時間とは思えない、充実した中身の濃い授業でした。参加者は戈木先生の授業に熱心に耳を傾け、終了後には多数の質問やコメントが寄せられ、盛会のうちに授業は終了しました。

授業後に提出されたアンケートは 40 部中 25 部で回収率は 63%、「大変満足」が 76%でその理由としては「分かりやすく興味が持てた」、「根本的なことからわかる内容」、「難しいと思っていたがトレーニングすれば自分でもできるのではと少し希望がもてた」などがありました。「満足」と答えた人は 20%で、その理由としては「次のプラン(公開授業後の演習)にも参加したかった」、「学習したことはあったがここまで詳細にはできていなかったのも、非常に勉強になった」、「分析方法の過程について学ぶことができた」などがありました。「やや満足」は 4%で自由記述では「初歩的なことを聞きたかった」と回答しました。また、「仕事や学修に活かせるか」という質問には「とても活かせる」が 36%、「活かせる」が 56%でした。今後の参加や公開授業の内容につ

いての要望の自由記述では今後も研究法の公開授業の開催を求める声や、公開授業があれば参加したい旨の意見、研究法の基本的なことや別の研究法についても学びたいなどの記述がありました。

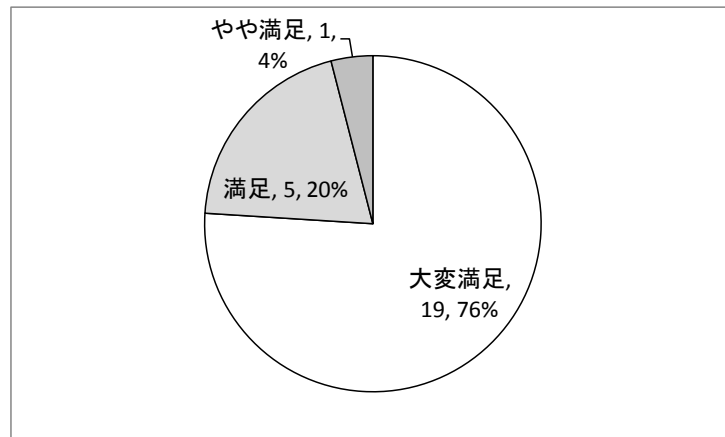


図 1.公開授業への満足度(n=25)

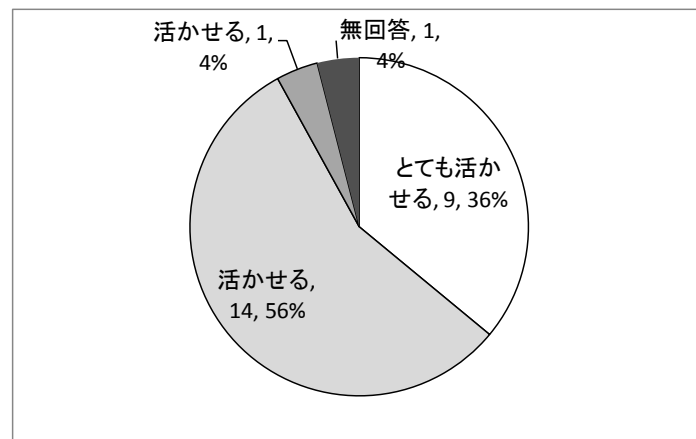


図 2.授業で学んだことを仕事や学修に活かせるか(n=25)

公開授業後は、戈木先生のスーパービジョンのもと通常の授業が3コマ行われました。授業には本学の在學生・修了生・教員が、各自分析した結果を持ち寄り検討し、最後に戈木先生の分析されたカテゴリー関連図が提案されました。短い時間ではありましたが、実践的にGTAを学ぶ有意義な機会となりました。

※大学院看護学研究科公開授業

当大学大学院看護学研究科では、平成21年度から授業の一部を福岡県下の教育機関や医療機関等に所属する看護職者に公開しています。本授業は、当大学の中期計画の一つである高度専門職業人教育の在学生の教育の充実、修了生の支援の一環としても行われ、在學生や修了生への良い刺激になっています。また臨床と大学の垣根を越えて学び合うことで、福岡県下の看護職者のネットワークの形成と看護の質の向上に寄与することを目指しています。

文責 看護学研究科臨床看護学領域精神看護学分野 准教授 松枝美智子